

定時制機械科

私たちの身の回りには、多機能で優れた機械があふれています。そのどれもが基礎的・基本的な知識や技術の上に成り立っています。機械科では、工業を学ぶ第一歩として機械の基本的な知識と技能を学びます。

定時制課程

午後5：25～8：55まで、毎日4時間の授業を実施する、4年制の夜間定時制です。昼間は働きながら、機械についての技術を身につけたい人に適しています。

現在、1年生から4年生まで12名の生徒が、お互いに励ましあいながら、勉強にクラブに熱心に取り組んでいます。

定時制機械科の特色

機械についての基礎的な知識や技術の学習、工作機械の使用法や加工技術を体験する実習があります。実習では旋盤・フライス盤・計測などの機械加工の基礎技能を主に学びます。

特別活動では、全員がバスケットボール、バドミントン、卓球のクラブに所属します。それぞれ県大会・全国大会を目指して練習を重ね、優秀な成績をあげています。昨年度は、卓球の団体戦で北信越大会に出場しました。他にも生徒会主催による春秋2回のクラスマッチ、千曲祭への参加、校外学習、生活体験発表大会などの行事があります。

専門科目の主な内容

普通科目の他に、機械科専門科目の授業が約4割を占めます。

材料の種類や加工法	→	「機械工作」
機械の仕組みや強度計算	→	「機械設計」
製品や部品の形を伝える	→	「機械製図」
エネルギーの利用法	→	「原動機」
加工法を体験する	→	「工業技術基礎」・「実習」



「工作機械 フライス盤」の実習

検定・資格

専門的な学習を深めるために、資格取得に挑戦します。

《検定》

- ・技能検定 「機械検査3級」
- ・技能検定 「普通旋盤3級」
- ・計算技術検定

《資格》

- ・ガス溶接技能講習
- ・アーク溶接特別教育講習
- ・フォークリフト特別技能講習
- ・小型車両系建設機械特別講習



技能検定「普通旋盤」の練習